

## 茨城県潮来市ワークショップ開催報告

茨城県潮来市は東日本大震災で液状化被害など甚大な被害を受けた。また、今回の震災対応で万全の対応が出来たか？を振り返ってみると多くの反省と次の震災対応に向けての課題があることも判明した。

今回は行政幹部職員、市長、副市長、課長以上 24 名が参加して「東日本大震災における災害対応から学ぶ～震災経験の整理～」と題して、次の大規模災害に備え、今回の震災における災害対応の経験を振り返り、災害対応の整理と優先度について検討を行うことを目的にワークショップを開催した。

開催日時 : 2月9日(木) 14:00~17:00

開催場所 : 潮来市役所 3F 会議室

参加者 : 防災科研 長谷川氏 中村氏  
: REIC 箕輪 松田 大園

WSでは震災当日、地震発生～20時頃までを検討対象とし

- (1) 実施した対応項目の抽出
- (2) 震災初期における災害対応の全体像の可視化
- (3) 実施した災害対応の整理と優先度の評価

についてグループ討議を行った。

また、グループは震災当時の役職でグループ分けを行い、総務部門、教育福祉部門、環境経済建設部門の3グループとした。

冒頭、杢田潮来市長より挨拶があり「今回の大震災では対応に大混乱をきたした。次の大災害に適切に対応する為、今日のWSを有意義なものとして欲しい。その為緊張感を持って望んで欲しい」との訓示があった。

その後、防災科学技術研究所 長谷川氏の進行に従いグループ討議が行われた。流れは以下の通り

- ・ ガイダンス
- ・ 各班の動きの振り返り
- ・ 災害対応の全体像の可視化
- ・ 災害対応の整理と優先順位づけ
- ・ 認識の共有
- ・ 次の災害に備えて(講話)



柏田市長の挨拶



ワークショップの様子



グループ討議の様子



討議結果の発表